

図書委員会による読書活動推進企画

1 活動の概要

図書委員会では、前期・後期で各1回ずつ読書活動を推進する企画を行っている。前期は、文化祭でのビブリオバトルを図書委員会で企画・立案し実施した。文化祭で紹介する本は、図書委員会でビブリオバトルを行い、その中で選ばれた4冊のチャンプ本（※）を全校生徒が見ることができるよう教育支援アプリを使って共有した。全校生徒は、各教室でその発表を鑑賞し、読みたいと思った本に、その場で挙手してもらった。結果は、図書委員が集計し、図書館便りで紹介した。

後期は、学級活動の時間を使い、図書委員が司会者となり、クラス全員が本を紹介し、学級でのビブリオバトルを行っている。

（※）チャンプ本とは、多数決により「一番読みたい本」に決定された本です。



2 活動の状況、実際

学級でのビブリオバトル

事前

・ビブリオバトルを行うことを図書委員より予告（実施の約1週間前）その予告と同時に、学級担任が本を2分程度で紹介し、ビブリオバトルでの本の紹介のイメージを共有する。

当日

・学級活動の時間に、図書委員が司会でビブリオバトルを行いクラスのチャンプ本を決定する。

- ① 4人班で順番に一人2、3分で本を紹介する。→班でのチャンプ本を決定
- ② 各班で選ばれた本をクラス全体で紹介し、一番読みたいと思った本を選ぶ→クラスのチャンプ本の決定

事後

・図書委員会でクラスのチャンプ本の紹介ポスターを1人1台端末で作成・掲示した。
・チャンプ本に選ばれた生徒に図書委員会でしおりを作成してプレゼントした。



3 生徒、先生の声

- ・流行の本や、幼い頃からのお気に入りの本など、それぞれが思い思いの本を持ち寄り、紹介することで、本に関心がうまれるだけでなく、お互いの理解にもつながり、学級経営にもよい効果があったと感じられた。生徒が負担感なく、気軽に本について話す機会を継続してつくることで、読書活動を推進していきたい。（学級担任）
- ・思ったよりも本に関心をもってくれた人が多かった。ビブリオバトルの後でも「この本読んだよ!」「読んでみて疑問が解けた!」という会話が起きていた。クラスでビブリオバトルに取り組む前は緊張していたが、終わってやりきった感があった。（図書委員の生徒）
- ・普通に楽しかった。班で取り組むのはリラックスしてできたけど、クラス全体では少し緊張した。（生徒）

